



秋の大運動会



制作／哲西荘 デイサービス ひまわり

哲西図書館入口に展示してある哲西荘の作品です。

毎月、季節に合わせて素晴らしい作品を展示してくださっています。ぜひ、足を止めて見てください。

NPO
通信

みんなの育を！

子どもは、将来の社会を支える宝です。子どもの誕生をみんなのひとこととして祝福し、子育てを大切に考え、行動していくことが求められています。

子育ては、「義的には親の責任でありますが、同時に「社会の宝」として社会全体で育てていくことが大切です。

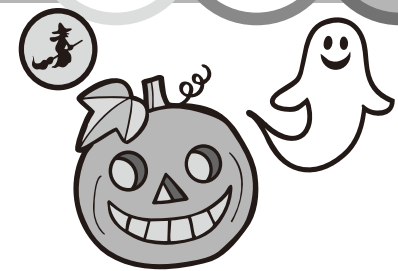
この地域でも地域安全活動や子育てサロン活動をはじめとする子育て支援の活動が進められています。

NPOきらめき広場では、昨年来「緊急時子育てサポーター講座」を開催し、このほど全過程を修了した25名のボランティアにより「NPO子育てサポーター協議会」が発足しました。

これを機に、学校や園で体調を崩し迎える必要になった子どもを、急な対応ができない保護者に代わって迎えに行き診療所で応急手当ののち保護者の到着を待つ「子育て緊急応援活動」と、病後の回復期で登校・登園が困難な止むを得ない事情の児童を2日程度預かる「病後児預かり活動」を始めることとしました。

今後、学校・園ならびにPTAなどとの協議を経て取り組みます。

子育てサポーター講座は継続して開きます。受講途中の方はもちろん一人でも多くの子育てボランティアの誕生を待っています。



●ご寄付ありがとうございました(敬称略)

■香典返し

- 佐藤枝計美(亡叔母リツヨ) 上神代
老人クラブ協和会へ金一封
- 福田 一義(亡母春代) 矢田
老人クラブみどり会へ金一封

■哲西図書館へ本・ビデオを

- 寄贈してくださった方々
- 松本多美子 上神代
- 吉村 正高 東城町
- 佐々本文正堂 新見

掲載をご希望の方は NPOきらめき広場事務局(TEL94-2143・FAX94-2100) までご連絡ください。



鯉が窪美写者会 奥田 秀男「秋・田舎の風景」

TOVIGASMARU／次回作に向けて創作活動を再開 新作映画「新見ののの」主役キャラクターのデザイン募集

- 応募要領
- ①本作品は“のの”という新見に住む不思議な生き物を主役にした物語です。
 - ②“のの”はおだやかな性格で、見た目かわいい感じです。
 - ③ことばはしゃべりませんが、時々「のーのー」と鳴きます。
 - ④両手のひらや、肩に乗るくらいの大きさです。
 - ⑤色は合成制作の都合上、白色と青色以外でお願いします。
 - ⑥A4サイズでお願いします。

締め切り 2009年11月30日(月)必着
問合せ先 TEL090-8245-0513

*申込先と詳しい内容はこちらをご覧ください。
<http://www.tovigasmaru.com/>



**受賞
おめでとう
ございます**
愛育委員表彰

7月23日、岡山衛生会館 三木記念ホールで岡山県愛育委員連合会・恩賜財団母子愛育会岡山支部の平成21年度総会並び研修会が開催されました。その中で多年に渡り愛育委員活動に貢献したことが評価され、哲西支部では下記の方が受賞されました。



坂回美弥子さん 塩月雄子さん 小坂良子さん
岡山県愛育委員連合会長表彰 岡山県保健福祉部長表彰



第13回牧水歌碑祭

牧水顕彰会主催

8月30日、哲西町大竹の牧水二本松公園で第13回牧水歌碑祭が開催されました。

この日は、牧水二本松子供太鼓の熱演で始まり、旅と酒をこよなく愛した若山牧水にちなみ出席者が「幾山河…」の歌碑へ献酒をしました。

その後、しらとり朗詠会が牧水の短歌を朗詠、やまびこコーラスグループが素晴らしい歌声を響かせ熱唱し故人をしのびました。

また、7月の短歌交流の集いに募集した優秀作品の披露と表彰も行われました。



昭和の道具展

「ちやうと昔のなつかしい暮らし」



8月12日～9月25日、きらめき広場 哲西市民ギャラリーで開催された「昭和の道具」では、たくさんの方が思い出をさかのぼり、あの頃の自分や家族に出会ったようです。大人には懐かしさ、子どもには新鮮なうつつり昭和の魅力を再発見できた催しになりました。

主催 哲西公民館 哲西民俗研究会
後援 NPOきらめき広場

平成21年度放課後子ども教室推進事業 きらめき子ども短歌教室

地域の指導者のもと、短歌の知識を深めながら楽しく活動しています。毎回、子どもらしい素直で面白く、生き生きとした歌が詠まれ、指導者を驚かせています。

牧水顕彰会は、地域文化の伝承に積極的に取り組んでいます。



新米まつり & 山羊まつり

道の駅「鯉が窪」

主催/株式会社 哲西

協賛/株式会社

重広 栄(しげひろ さかえ)と申します。

9月1日から株式会社 哲西の支配人に就任しました。

前職はJA阿新(JAあしん広場)の職員で、新見市豊永から通っています。

哲西町は新見市の西の玄関口としての役割を担い、自然に恵まれた平坦な素晴らしい地域であります。

「道の駅鯉が窪」を地域内外との交流の拠点と位置付け、地域色を出せるよう積極的に取り組んでいきます。

今後、地域の皆様のご協力をいただき、活気ある憩いの空間作りを目指し頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(株)アクティブ哲西支配人

山野彩館：矢田貝さん

地元の旬の食材を使って、美味しい料理を提供できるよう心がけています。自慢の新メニュー「千屋牛丼」ぜひ、食べに来てください。



こめ工房：野村さん

明るく元気な仲間とパンを作っています。今年で6年目をむかえました。これからも地域みなさんに愛される「パン屋さん」を目指し、スタッフ一同がんばって行きます!秋の新商品もいろいろ出しています。ぜひ、お立ち寄りください。



おまつフランス

ポン菓子

新鮮野菜
見たい・知りたい・伝えたい!
みんなの広場 Kirarira News



新見産どじょう

新米のおにぎり 卵かけごはん

新米コーナー
哲西で採れた安心安全なお米を使って、新商品・新メニュー・定番商品などが並び、たくさんの方で賑わいました。

ローズマリーママ：沖田さん

安心・安全で良質な商品ができるよう、日々、研究と努力をしています。これからもよろしくお願いいたします。



お米クッキー

米粉50%でポン菓子入り、この秋おすすめの新商品です。





運動会のお礼

稲刈りを終え、秋の気配が少しずつ山々にも感じられる頃となりました。地域の皆様方には、ますますご健勝のことお喜び申し上げます。

さて、先月実施をいたしました各学校の運動会は、保護者をはじめご家族、地域の多くの皆様方の温かいご声援とご協力の中、それぞれ盛大に挙行することができました。

また、ご多用の折にもかかわらず、ご来賓の皆様にはご臨席並びにご厚志を賜り、心よりお礼申し上げます。

今後とも、各校園の教育活動の推進に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにりましたが、皆様方のご多幸と地域のますますの発展をお祈り申し上げ、お礼の言葉いたします。

哲西認定こども園／矢神小学校／哲西中学校



きらりら子育てサロン

9/9 きらめき広場・哲西周辺を散歩しました。

NPOきらめき広場

子育て中の方なら、どなたでも参加できます。

10月の予定	14日(水)9:00～15:00 草花・季節の花で遊ぼう 17日(土)9:00～12:00 小中学生と遊ぼう 28日(水)9:00～15:00 誕生会・ペーパーサート	
---------------	---	---



内科 研修医 矢田先生 の感想

去る、8月17日から31日の間、岡山済生会病院初期臨床研修医2年目の矢田勇慈先生が来られましたので研修の感想を掲載します。

①哲西町診療所研修で学んだこと感じたことは？

診療所の患者さんは、大病院の患者さんとは違うと感じました。大病院の患者は研修医でもそうとわからず優秀だと思っています。病院お医者さんの意見を優先させる傾向があることを改めて感じました。

②地域包括医療について理解できましたか？

できあがったシステムをみれば簡単、当たり前のことのように見えますが、このシステムを作るのとても大変だったろうと思いました。

③診療所のイメージは変わりましたか？

診療所の医師次第ということがわかりました。しっかりした医療を行うためにス

タッフの力がとても重要であると思いました。(1人1人の影響が大きい)

④将来、診療所等で働いてみたいと思うようになれましたか？

やはり外科をするなら大病院が良いです。ただし、診療所での研修は必ずすべきであると思うようになりました。

⑤研修を通じて今後自分で勉強したり考えたりしてみたいことはありましたか？

今回の研修で多くの欠点、苦手な点が明らかになりました。社会医療も大事ですが、まず医者としての基本的なスキルを学ぼうと思います。

⑥あなたの目から見て哲西町診療所が今後取り組むべき課題は何ですか？

後継の医師を育てること

⑦その他気付いたことや感想など

2週間あまりの短い期間でありながら非常に多くの経験ができました。岡山済生会病院での初期臨床研修のスーパーローテイト2年間の

中でも特に思い出に残る研修となりました。

10月の担当医表

6日	高畑(内科)	呼吸器・循環器
13日	土持(外科)	外傷外科・胸部外科
20日	藤原(内科)	消化器(内視鏡)
27日	池田(外科)	腹部外科・血管外科

*理学療法士によるリハビリは毎週火曜日です。

歯科 内藤医師のお話

カブトムシから抗がん剤？

今年の夏は、夏らしくない天気が続き、短い夏でしたが、子どもといっしょに夜な夜な昆虫採集に励みました。おかげさまで、現在我が家では、総勢50匹近くのクワガタムシ、カブトムシが処狭しと這いずりまわっています。

ます。

さて皆さんは、抗生物質さえ効かない薬剤耐性菌やがん細胞だけをねらい撃ちし、副作用が少ないーそんな特効薬の開発がカブトムシを使って行われていることをご存じですか？農業生物資源研究所（茨城県つくば市）の生体防御研究ユニットチームが、実用化を視野に研究を進めているのが、カブトムシの幼虫がつくる「抗菌ペプチド」です。抗菌ペプチドは複数のアミノ酸がつながったたんぱく質の小型版。細菌が侵入すると現れて菌を壊し役割を終えると消える「最初の防衛線」といえる仕組みの一つです。同研究所が96年、分離に成功したのが「カブトムシデیفエンシン」。抗生物質が効かないメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)に強い殺菌作用があるとのこと、また最近になって、骨髄腫など部のがん細胞に対しても増殖抑制効果があることがわかりました。ただ、実用化までには安全性や効果、コストなど、ま

だ研究が必要のようです。薬剤を特定の細胞に送り込む技術と組み合わせれば、他のがんや細菌などに応用範囲が広がるかもしれない、という夢のような薬剤、早急な開発が期待されます。

話は戻りますが、我が家のオオクワガタが産卵し、最近幼虫に孵化していました。オオクワガタは絶滅危惧種に指定されており、数十年後にはこの日本から消えてしまう可能性があるそうです。大切に育てないと…(実は昨年飼育していたカブトムシの幼虫の世話を怠り、全滅してしまつたので、子どもにこびどく叱られてしまいました。)

さらに世界に目を向けると、ライオンやゴリラなど、同じように絶滅が危ぶまれている生物がたくさんあるようです。そのほとんどが、人間による自然破壊、乱獲によるものだそうです。人間ひとりひとりが、環境問題についてもっと真剣に取り組まなければならないのではないのでしょうか？



稲刈りをしました!
矢神小学校

5月25日に行った田植えから4ヶ月余り。学校の水田にも見事に黄金色の稲穂が実りました。

去る9月18日、3年生以上の児童が稲刈りに取り組みました。当日は、田植えの時と同様、地域の老人クラブ会員20名の協力を得て、作業を行いました。近年では、鎌を用いて稲刈りすることが少なくなりましたが、児童は老人クラブの皆さんの手ほどきを受けながら、一束束丁寧に刈り取っていました。

田植えやアイガモの世話、稲刈りの作業をとおして、児童が勤労の尊さや生産の喜びを感じてくれればと思います。また、老人クラブの皆様との交流からも、児童は多くの大切なことを学ばせていただているのではないのでしょうか。

米どころ矢神。これからも本校の伝統として続けていきたい学校行事の一つです。

思いやりの心を育む学習
野馳小学校

9月15日に参観日を開催しました。今回の授業は、人権に関する内容を取り扱うものでした。各学年、道徳や学級活動で思いやりの心を育み、行動で表せる子どもにしたいとの考えで授業をしました。

本校の学校教育目標「自分が好き みんなが好き ふるさとが好き きらりかがやくたくましい野馳っ子の育成」の前半部分に直結しています。自己肯定感を土台に周囲の皆に配慮できる人になり、全児童が、学校教育目標に到達できるよう頑張っている野馳小学校です。

生かして欲しいこと
哲西中学校

毎年2年生を対象に実施している職場体験学習を今年も9月16日・17日の2日間の日程で行います。この体験学習の事前学習として、渡辺病院の総師長の小川洋子先生をお招きして「病院ということと仕事」と題してお話をいただきました。

将来看護師を目指している人の生徒は、「今日の話は、自分が知らないことばかりで、大変勉強になった。先生の話を生かして、2日間頑張りたい。」また、他の生徒の感想に、「病院は色々な資格を持った人が働いている。自分も今から勉強をして色々な資格に挑戦したい。」

「先生の体験談の中から、命の大切さがよく分かりました。」等々、働くことの厳しさ・辛さや仕事の生き甲斐など現場で働いている人の生の声を聞くことができ、これから行われる体験学習に生かしてくれるものと期待しています。



新見市立哲西図書館
TEL94-2110 FAX94-2100

休館日のお知らせ
・年中無休です
[年末年始、蔵書点検日を除く]

哲西図書館利用者のための
乳幼児一時預かり
毎月第1・第3月曜日10:00~12:00
きらめき広場・哲西プレイルーム

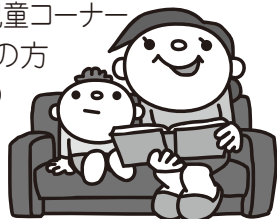
子ども映画会

日時 10月10日(土)14:00~
場所 きらめき広場・哲西
哲西図書館
ブラウジングコーナー
内容 DVD「スヌーピーの感謝祭」



おはなし会

日時 10月24日(土)14:00~
場所 哲西図書館 児童コーナー
内容 ボランティアの方による絵本の読み聞かせ



今月の展示本

◎展示コーナー〈紅葉〉

名所スポットを紹介した本や撮影の仕方など、紅葉を楽しむための本を展示しています。



◎児童コーナー〈読書の秋〉

本をテーマにして書かれた楽しい絵本を展示しています。



読書感想文

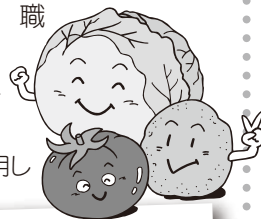
哲西図書館の利用者から嬉しい報告をお聞きしたので皆様へお知らせします。

昨年、第54回青少年読書感想文全国コンクール自由部門第41回広島県審査において東城小学校の大塚和寿くんの感想文が優秀と認められました。

これを励みに今年も頑張っている。読書好きの子ども達の成長にかかわることが出来て、職員一同とても嬉しく思っています。

子供らしい素直な気持ちが表された作品を紹介いたします。

*写真は原本です。文章は承諾のうえ漢字を使用し載せさせていただきました。



「やさいのおしゃべりきょう」
この本を読んで、ぼくがれいちゃんだったら、野菜の好き嫌いはしません。ピーマンは大好きな肉づめにして食べます。大根は、大根おろしにしてサンマと食べます。もしも、ぼくがれいちゃんのお母さんだったら、野菜をやさしくあつかいます。野菜がげえにならぬように、袋は、振らずに歩きます。ぼくも、車によつたとき、すくしんどかつたので気持ちがわかります。

このお話は、野菜がしゃべるところが面白い。うわさ話やもくをきくところが、まるで人間みたいです。野菜たちは冷蔵庫の中で、ほんとにこんな話をしているのかなと思います。ぼくは、冷蔵庫の中の野菜の気持ちを、これからは、できるだけよく食べてあげようと思いました。たぶん野菜は、食べられるために生まれてきたのだと思います。だから、食べられるのが嬉しいのです。

ぼくのお母さんも、れいちゃんのお母さんと似たところがあります。ぼくのお母さんもこの前、だんごの賞味期限をききました。でも、食べてみると味はいつもと変わりませんでした。食べ物は、いろいろないのちと引き換えになっています。だから、心のなかで「ありがとう」を言わずに「いただきます」「ちそうやま」を言わないといけません。

れいちゃんのお母さんへ
しょうがのミイラに三年前ののはんは、もう、捨てればあ。

かずひなより